



平成5年に日本初のスタンド全面に屋根が付いたサッカー専用スタジアムとして誕生。鹿島アントラーズの試合など、多くの名勝負が生まれている。

●カシマサッカースタジアム



ト伝の郷運動公園にある鹿島アントラーズ初優勝記念碑

●ト伝の郷運動公園

地元が生んだ剣聖・塚原ト伝の名を冠した95,000㎡の広さを誇る運動公園。人工芝グラウンド、サッカーコートなどがあり、多くの人々がスポーツに親しむ。



●鹿嶋灯台



●鹿島神宮東の一之鳥居

鹿島神宮には東西南北に一之鳥居がある。東の一之鳥居は鹿島神宮から約3kmほど東、鹿島灘からの朝日が望める明石浜堤防前にある。

●明石の百庚申



平成30年に市の文化財に指定された。庚申塔は庚申講の記念に建立された石塔のこと。この場所には江戸時代後期に奉納された100基の庚申塔がある。



コースは季節を問わずに楽しむことができます。新型コロナウイルス感染症拡大等の状況を考慮しながら、散策をお楽しみください。

● 散策コース ●

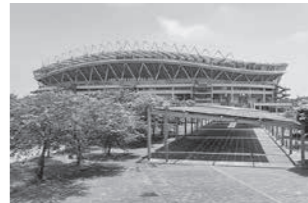
県立カシマサッカースタジアムは試合がない日でも楽しめる。スタジアム周辺には鹿島アントラーズを草創期から支え続ける英雄・ジーコの像や、アントラーズ仕様のマンホールなどがある。スタジアムの東側にはト伝の郷運動公園が広がる。遊歩道があるほか、1993年に鹿島アントラーズがJリーグ初優勝を果たしたことを記念する「鹿島アントラーズ初優勝記念碑」も立つ。海に向かう途中には鹿嶋灯台がある。高さは約32m。鹿

島港の開港に合わせて築かれたもので、海岸までは遠いが、船舶の安全な航行に寄与している。灯台の近くには「明石の百庚申」がある。青面金剛像が彫られた石塔10基、「庚申」と刻まれた石塔90基が並ぶ。百庚申は利根川沿いで確認されるが、県内ではほとんど見られない希少なものだ。明石海岸からは雄大な鹿島灘が臨める。その南側には鹿島神宮東の一之鳥居がある。鹿島神宮の祭神・武甕槌大神(たけみかづちのおおかみ)が、出雲国で大国主命(おおくにぬしのみこと)と国譲りを話し合った後に上陸した場所という伝説もある。

Vol.112 駅からのふるさと紀行 JR鹿島線 鹿島サッカースタジアム 臨時駅 鹿島臨海鉄道大洗鹿島線 荒野台 鹿島神宮 次回8月22日の掲載予定です。



●鹿島アントラーズ戦が開催される日は大洗鹿島線が停車する



●駅から見たスタジアム



●跨線橋が駅の入口

多くの名勝負の舞台となったカシマサッカースタジアムに隣接 Jリーグの雄・鹿島アントラーズ。JR鹿島線・鹿島サッカースタジアム駅は、その本拠地となる県立カシマサッカースタジアムに隣接する。列車はアントラーズ戦など、大きな試合の時のみ停車し、駅のある跨線橋は、駅利用者や西側にある駐車場からスタジアムに向かうサポーターでにぎわう。前身となる鹿島臨海鉄道鹿島臨港線・北鹿島駅は昭和45年に開業。乗客が乗降できない駅だったが、鹿島臨海工業地帯で生産された物資輸送という重要な役割を担った。昭和60年には大洗鹿島線が開業。平成5年にJリーグが始まると翌年ホームが新設され、3月12日に鹿島サッカースタジアム駅と改められた。カシマサッカースタジアムはJリーグはもちろん、W杯など大きなイベントも催され、多くのドラマを生んできた。そして、今、再び世界の注目を浴びる舞台となっている。

働く人と、世界を走る。 ISUZU 茨城いすゞ自動車株式会社 本社 / 〒310-0063 水戸市五軒町1-2-5 ☎029-225-1215(代) https://www.ibaraki-isuzu.co.jp